

三津浜地区景観まちづくり 第4回勉強会の便り

平成27年7月30日(木)に、三津浜地区の景観に関する「第4回景観まちづくり勉強会」を開催致しました。第4回は、「景観まちづくりアイデア集(仮称)を確認しよう!」をテーマとして、皆様からのアイデアをとりまとめた冊子を提示し、その内容について、参加者の皆様から多くのご意見を頂きました。

【開催概要】

日時：平成27年7月30日(木) 19:00~21:00
 場所：松山市三津浜支所 2階大会議室
 参加者：各種団体(計13名)

勉強会のプログラム

タイムテーブル	プログラム
19:00~19:03 (3分)	・開会のあいさつ ・職員・スタッフ・先生の紹介
19:03~19:30 (27分)	・第3回勉強会の結果概要の報告 ・景観まちづくりアイデア集(仮称)の概要説明
19:30~20:00 (30分)	■全体意見交換①【スクール形式】 『景観まちづくりアイデア集(仮称)を確認しよう!』 ・第3回で話し合った景観まちづくりの具体的なアイデアの内容や場所・時期等について確認し、仕上げます。
20:00~20:05 (5分)	■全体意見交換②【スクール形式】 『景観まちづくりの実現に向けて最初にできることを話し合おう!』 ・景観まちづくりの取組みの進め方について
20:05~20:35 (30分)	・景観まちづくりの次のステップに向けて、各アイデアを実現するために、まずどのようなことから取り掛かっていけばよいか、話し合います。
20:35~20:40 (10分)	・総評
20:40~20:45 (5分)	・松山市景観計画の改定について
20:45~20:48 (3分)	・今後の予定、閉会のあいさつ

勉強会の様子



意見交換の様子



松山市による説明の様子

■松山市都市整備部都市デザイン課

〒790-8571 松山市二番町4丁目7-2 Tel. 089 (948) 6848 Fax. 089 (934) 1807



【ご確認いただいた「景観まちづくりアイデア集(素案)」の冊子】

ご意見を
頂きました!

景観まちづくりアイデア集(仮称)に関する意見【概要】

該当項目	主な修正意見等
■景観まちづくり区域について	・景観形成に取り組む区域を決める際の対象者は観光客になるのか ・来訪者だけを考えるなら、対象区域は狭くてよい ・対象区域の南側ラインについて、他の計画でもフェニックス通りまで区域内に入れていることを考えると、入れたほうがよい
■具体的な取組みについて	・表現があいまいなため、取組みの姿勢を示すように改めてほしい
■景観まちづくりを行っていく上での他の組織との連携・協力事項について	・松山市庁内で連携を図っていく必要がある ・三津浜港周辺のごみや放置駐車等の問題は、早急に県・港湾関係等の関係組織に動いてもらいたい 等

ご意見を
頂きました!

今後の進め方に関するご意見【概要】

主なご意見

- ・話し合ったことを1つずつでも実現することが重要
- ・長期的な視点でも、早く1歩を踏み出すことが重要
- ・このアイデア集をもとに、何か1つでも簡単なことからアクションをおこし、小さなエリアでも良いので、景観形成に取り組むモデル地区を先行してつくっていくことが重要
- ・三津浜地区全体などの少し大きな規模で開催する会議と地元住民等で開催する小さな会議の2種類の会議を開催し、大きな会議ではまちづくり全体からみた地域の景観について話し合い、小さな会議では具体的な地区の整備について話し合っていけばよいのではないかと。

【今後の予定】

今回の勉強会にて、予定していました勉強会はすべて終了致しました。今後は、今回頂いたご意見をもとに、景観まちづくりアイデア集(素案)を修正し、まちづくり協議会の方々にご確認頂き、「景観まちづくりアイデア集」として、地区の住民の方々に広く周知していく予定です。

■景観まちづくりアイデア集（仮称）を確認しよう！

景観まちづくりの役割について

今やっている“まちづくり”に（ポイントをつける）ことで、来訪してくれるのではないかな。
景観まちづくりの役割

具体的な取組みの表現内容について

表現があいまいである（～検討します など）
↓
「実行できるか」が実行することが大切

⇒「働きかけます」
⇒「努めます」
表現を意志のある表現に修正

地元 行政
・意志
・決意表明

A地区及びC地区の港周辺の景観について

C地区（三津浜港）をきれいにする

内容
海岸周辺がきたない

堤防内に倉庫等が放置されている

・景観が悪い
・防犯面危険



景観まちづくり・デザイン
三津にほいデザインは？

⇒早急に行政に動いてほしい
市・県・港湾・警察

まちづくりの取組姿勢

景観まちづくりの活動・検討は止まっていると見えない。動いていることが重要。その都度対応を考える（まちづくり活動の姿勢）

公共施設の整備について

三津の道は魅力がある（昔の海岸線・曲がっているなど）

・昔とまちの形態は変わっていない

・整備時にも住民の話を聞く機会はあるのか？

整備段階での話し合いについて

三津浜緑地のリニューアル
⇒公園課にも伝えられている

緑道→歩道に出来るのか？

・公園緑地課と話をしてみる（市）
・港湾関係の部署にも話を（市）

・緑地から海が見えない
・場所が活かされていない

・松山市の庁内で連携を図ってやっていく必要が

三津浜地区

★今後の進め方について

今回の話し合いの後
↓
行政 → 地元を支援する
↓
地元 → 窓口、リーダーを決める → 地元に応じる

話し合ったことを1つずつでも実現することが重要

■長期的な先を見て早く1歩を！
■全員の合意形成は難しい
→1つの通りから広げる例もある

■アイデア集
・住民を集めるツール
・地区毎でのモデルを作る（先行例）

■簡単なことからアクションを起こす
■既存の組織があるので自分たちで出来ることを考えて実行

・大きな会議：まちづくりに関することを話し合う
↓
・小さな会議：具体的な地区の整備のことを話し合う

その他

どの程度の子算？

区域について

景観の対象は？
・観光客（来訪者）
・住民

区域→フェニックス通りまで（他の計画では入れている）

将来的なことを考えるとフェニックス通りまでがよい

・元町など古い街並みがある
↓
もう少し広くてもよい
・まちづくりとして考えるならどこまでか？

→来訪者だけが対象なら、区域は狭くてもよい（今のままでよい）

フェニックス通りは、大型商業店
↓
港周辺と異なる

外に向けた景観
↑
内々を良くすること

追加の内容

■宮前川をきれいにすることを考えて欲しい（ゴミ、河口…ヘドロ）

参勤交代の道をもっとPR “おなり橋”

ポッチャン…の所

宮前川
・イルミネーション→行燈
・日常的に歩いていてきれいを感じる



対象地区
（景観まちづくり区域）